

新着おすすめ本

2018. 3

美しいものを見に行くツアー ひとり参加

(著) 益田ミリ



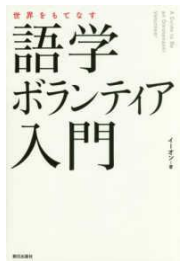
漫画家の著者が「美しいものを見ておきたい」と思い立ち、様々なツアーに"ひとりで"参加します。北欧、フランス、ブラジル、台湾...1人では不安な海外旅行も、ツアーに申し込みばどこにだって出かけられる！写真・イラスト・漫画で旅の様子を綴ったエッセイです。

4月より、カウンター横にて
「世界の〇〇に行ってみた！住んでみた！」を
テーマに旅行記・移住に関する書籍を
展示・貸出します。
是非お手に取ってご覧ください！



世界をもてなす語学ボランティア入門

(著) イーオン



オリンピックはみんなが民間大使！東京オリンピック開催にあたり、必要不可欠な"語学ボランティア"についてのガイドブックです。既に日本でボランティアガイドとして活躍されている方に聞いた、外国人をもてなす楽しさ・案内のコツなども載っています。

人間をお休みしてヤギになってみた結果

(著) トーマス・トウェイツ



ヤギになって、人間特有の「悩み」から解放されたい！そう思った著者は、草から栄養をとる装置を開発するなど、大真面目にヤギになろうとしますが、果たして...!? 「人々を笑わせ、そして考えさせてくれる研究」に対して与えられる、イグノーベル賞を受賞したサイエンス・ドキュメント。

サトコとナダ

(著) ユペチカ



ルームメイトはサウジアラビアの女の子!? アメリカに留学してきたサトコを待っていたのは、同じく留学生でサウジアラビア人のナダ。初めて触れるイスラム文化に、サトコは驚くばかり! そんな2人の、異文化交流ライフを描いたコミックです。

日本人が知りたいスペイン人の当たり前

スペイン語リーディング (著) 大橋玲子 ほか



「スペイン人の当たり前って何だろう？」がテーマの本書。「名前が長いのはなぜ?」「医療費が無料って本当?」といった様々な疑問にスペイン語で回答します。(もちろん日本語訳もごさいます。) スペイン語学習者だけでなく、スペインについて知りたい方にもピッタリな一冊です。

児童向けの本



同級生は外国人!? 多文化共生を考える

(監修) 吉富志津代



外国で生まれて日本にやってきた子や、家族に外国人がいる子。そんな外国につながりを持つ子との「文化の違い」が分かれば、もっと仲良くなれるかも! 色々な文化を持つ人たちと共に生きる「多文化共生」を、実際にあった事例を見ながら考えてみましょう。

天女銭湯

(著) ペク・ヒナ



お母さんと来た、古い銭湯。大好きな水風呂で出会ったのは...!? 自称"人形いたずら作家"の著者が、人形制作からセットづくり、撮影までこだわった韓国発の写真絵本です。同シリーズ「天女かあさん」も所蔵しておりますので、是非あわせてお読みください。